1. 林野率と林業従事者
2. 保有山林面積
   木材の生産量

1. 林野率と林業従事者

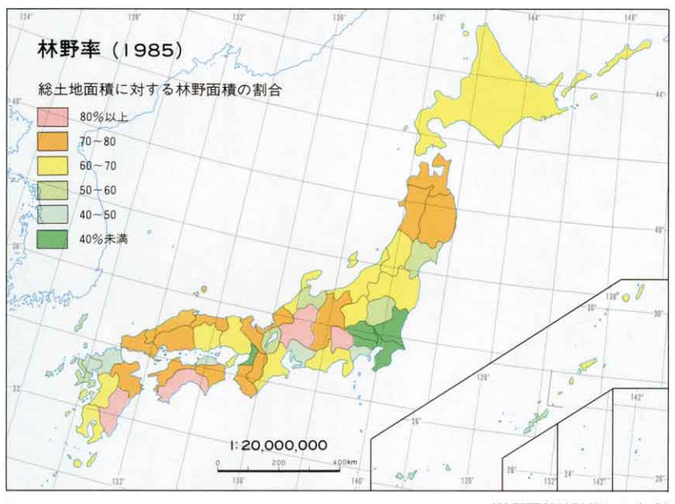
1985 年の林野面積は、2510 万 5234 ha で、国土総面積の 66.5% を占める。

土地の総面積に対する林野面積の割合である林野率を都道府県別にみると、高知県の 83.5% が最も高く、次いで、山梨県 82.9% で、最も低いのは、大阪府の 31.8% である。

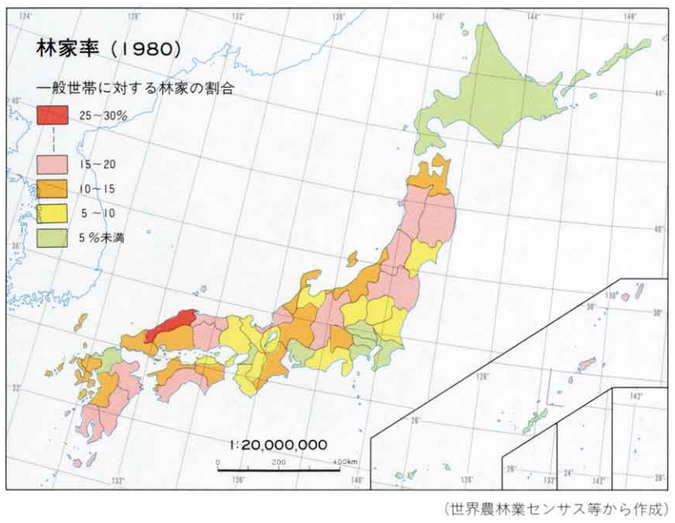
林野面積から草生地（野草地）の面積を除いた現況森林面積は、2471 万 7566 ha で、これを経営形態別にみると、国有 29.7%、森林開発公団 1.6%、公有 12.2%、私有 56.5% である。

森林面積（森林計画面積）から、竹林、伐採跡地、未立木地の面積を除いた樹林地面積は、2382 万 8570 ha である。これを林種別にみると、人工林 42.1%、天然林 57.9% で、林相別では、針葉樹林 51.5%、広葉樹林 48.5% である。

1979 年における林業従事者のうち、農家世帯員は 118 万 6030 人、林家世帯員は 5 万 5391 人であり、林業労働は、ほとんどが農家世帯員の兼業労働に依存していることが分かる。なお、林業に従事した農家世帯員の 90% は、自家林業に従事している。



（林野面積統計等から作成）



（世界農林業センサス等から作成）

林業従事者は、林業生産活動の停滞などを反映し減少傾向にあり、また高齢化が進んでいる。

〔凡例と作図の要点〕

林野率とは、土地の総面積（1984 年 10 月 1 日現在）に対する林野面積（1985 年 1 月 1 日現在）の割合をいう。

林業従事者とは、調査日（1980 年 2 月 1 日、沖縄県は 1979 年 12 月 1 日）前 1 年間に、自分の家の林業や、よそに雇われて林業に従事した者をいう。この図では、農家世帯員の場合は、従事日数 1 日以上の者、農家世帯員以外の場合は、保有山林 1 ha 以上の世帯員で従事日数 1 日以上の者を林業従事者として表わした。

〔主な資料〕

1. 農林水産省，昭和 60 年林野面積統計
2. 国土地理院，昭和 59 年全国都道府県市区町村別面積調
3. 農林水産省，1980 年世界農林業センサス

2. 保有山林面積

1985 年の山林を保有する農家は、170 万 9033 戸（全農家の 39.1%）で、保有山林面積は 449 万 5655 ha である。そのうち、人工林を保有する農家は 99 万 9752 戸で、面積は 205 万 7592 ha である。また、農家 1 戸あたりの保有山林面積は 1.0 ha である。

山林を保有する農家を規模別にみると、5 ha 未満が 87.4%、5 ha 以上 20 ha 未満が 10.6%、20 ha 以上が 2.0% であり、大部分は 5 ha 未満の小規模な農家である。

1965 ～ 1985 年の間に、山林を保有する農家は 63 万 4000 戸減少し、またその面積は 92 万 6000 ha 減少している。

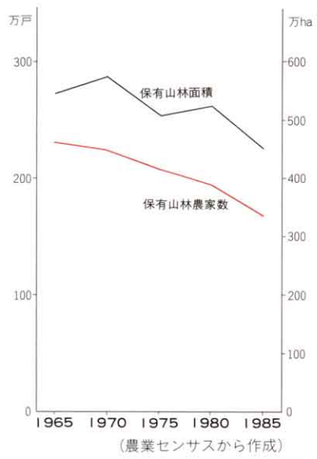
〔凡例と作図の要点〕

保有山林とは、世帯が単独で経営できる山林をいう。すなわち、所有山林から貸付林と他に分収させている山林とを除いたものに、借入林と分収している山林とを加えたものをいう。

〔主な資料〕

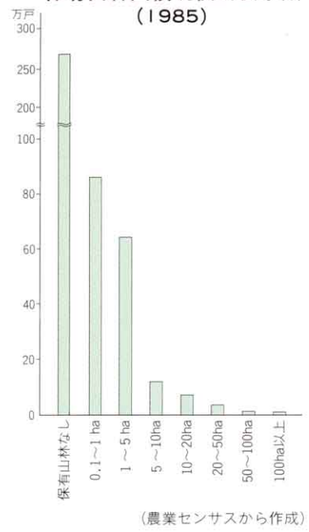
1. 農林水産省，1985 年農業センサス

保有山林農家と保有山林面積の推移



（農業センサスから作成）

保有山林面積規模別農家数（1985）



（農業センサスから作成）

2. 木材の生産量

1985 年の我が国の木材の生産量は、3294 万 4000 m³ である。これを都道府県別にみると、北海道の 833 万 8000 m³ が最も多く、次いで、岩手県 176 万 8000 m³、福島県 132 万 3000 m³ と続いている。

木材の生産量の樹種別内訳は、針葉樹 62.4%（すぎ 23.7%、あかまつ・くろまつ 11.7%、ひのき 9.9% など）、広葉樹 37.6%（ぶな 2.5%、なら 2.0%、その他 33.1%）で、所有山林形態別内訳は、国有林材 30.0%、公有林材 5.8%、私有林材 64.2% である。また、用途別、樹種別にみると、製材用が全体の 57.1% と最も大きな割合を占め、その内訳は、針葉樹 87.1%、広葉樹 12.9% となっている。以下、木材チップ用が全体の 33.2%、内訳は、針葉樹 18.1%、広葉樹 81.9%。パルプ用が全体の 5.4%、内訳は、針葉樹 82.2%、広葉樹 17.8%。合板用・その他が全体の 4.3%、内訳は、針葉樹 51.0%、広葉樹 49.0% となっている。

木材の総供給量に占める国産材の割合は、1978 年の 40% を最低として、1979 年以降、上昇傾向に推移し、1985 年は 50% となっている。

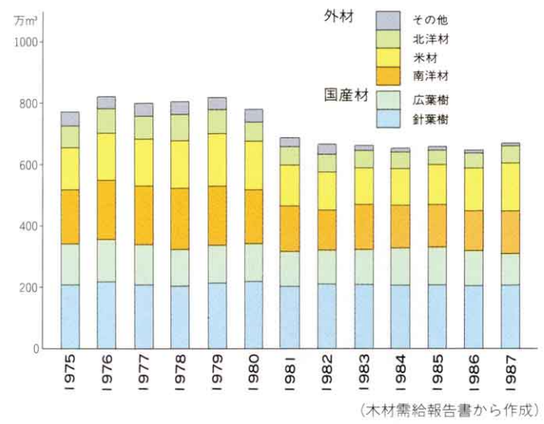
〔凡例と作図の要点〕

素材とは、用材に供される長さ 180 cm 以上の丸太およびそま角をいう。

〔主な資料〕

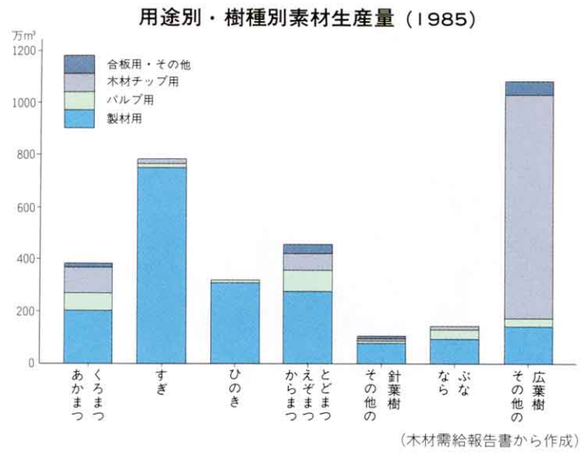
1. 農林水産省，昭和 60 年木材需給報告書，62 年木材需給報告書

素材供給量の推移

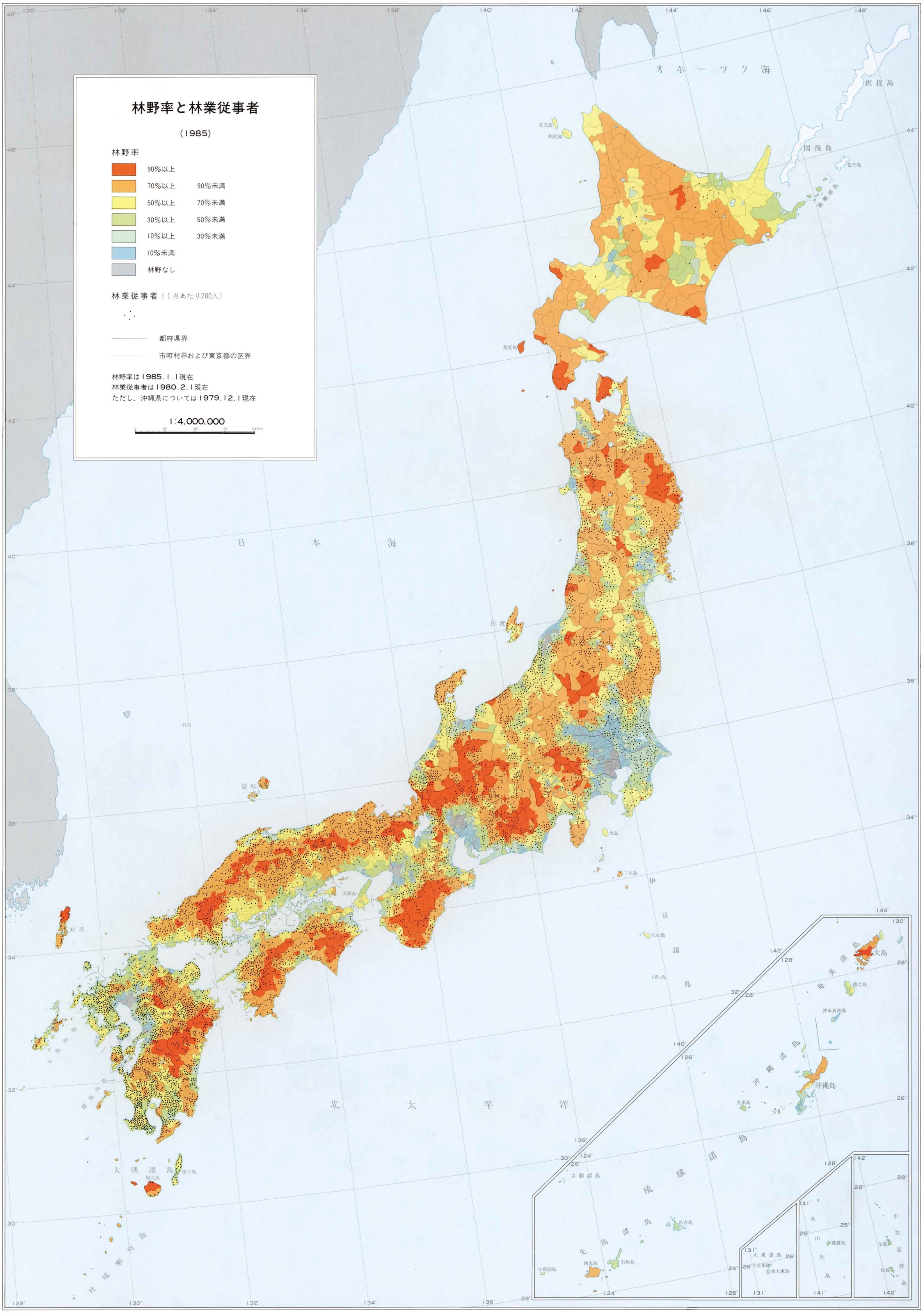
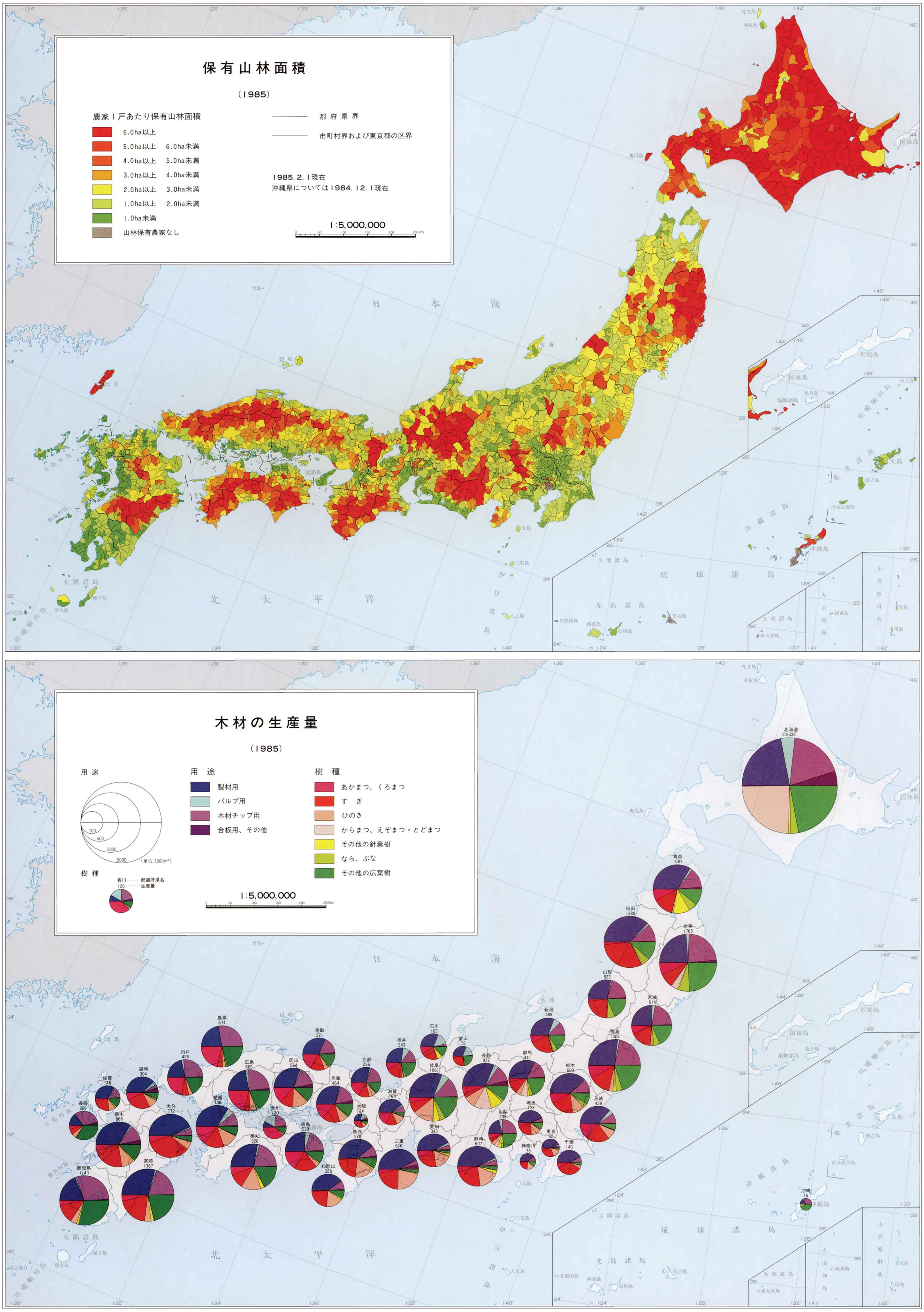


（木材需給報告書から作成）

用途別・樹種別素材生産量（1985）



（木材需給報告書から作成）


林野率と林業従事者
(1985)
林野率
90%以上
70%以上 90%未満
50%以上 70%未満
30%以上 50%未満
10%以上 30%未満
10%未満
林野なし
林業従事者（1点あたり200人）
都府県界
市町村界および東京都の区界
林野率は1985.1.1現在
林業従事者は1980.2.1現在
ただし、沖縄県については1979.12.1現在
1:4,000,000
オホーツク海
日本海
北太平洋
択捉島
国後島
色丹島
歯舞諸島
礼文島
利尻島
奥尻島
佐渡
隠岐
竹島
対馬
五島列島
薩摩列島
大隅諸島
種子島
屋久島
吐噶喇列島
淡路島
大島
三宅島
伊豆諸島
八丈島
青ヶ島
小笠原諸島
父島
母島
硫黄島
火山列島
南大東島
北大東島
沖縄諸島
沖縄島
久米島
沖永良部島
徳之島
奄美諸島
宮古島
石垣島
西表島
与那国島
先島諸島
尖閣諸島
琉球諸島

保有山林面積．　木材の生産量